



OceanView

Powered by Ocean Insight

Software Quick Start Guide

オプトシリウス 株式会社

本社：〒115-0055 東京都北区赤羽西 1-2-14 MYビル 2・3F

西日本営業所：〒532-0004 大阪市淀川区西宮原 2-6-67-707

TEL:03-5963-6377 (本社) / 06-7171-7654 (西日本営業所)

<http://www.oceanoptics.jp/>

OceanView は 32 ビット、および 64 ビットの Windows、Macintosh、Linux OS 上で動作します。ソフトウェアはオーシャンインサイト社の全ての USB 分光器を制御可能です。

はじめに(Getting Strated)

使用 PC の最小要求仕様

ディスプレイ解像度	1024 x 768 ピクセル 以上
RAM	1.5 GB 以上
プロセッサ	Intel Core II Duo@1.4GHz 以上
	Intel Core Duo@2.0GHz 以上
	1024 x 768 ピクセル 以上
ハードディスク 仕様	1024 x 768 ピクセル 以上
	1024 x 768 ピクセル 以上

注意

2010 年移行に生産されたほとんどのプロセッサで OceanView は正常に動作します。

警告

OceanView ソフトウェアをインストールするまで、分光器をコンピュータに接続しないで下さい。適切に接続し、システムを構成するために以下のインストラクションに従って下さい。

インストール

Windows インストール

全てダウンロードした時の容量は、およそ 64MB(32-ビット)または 71MB(64-ビット)です。

* 以下の手順は弊社ホームページよりダウンロードして、インストールして頂く手順になります。

1. OceanView の納品の際にお伝えしたダウンロードサイトより、OceanView をダウンロードして下さい。
2. コンピュータ上の全てのアプリケーションを閉じて下さい。

3. 分光器を接続している場合、その接続を外して下さい。
4. インストーラーを起動させて、チュートリアルに従って進んで下さい。
5. 希望する場所にソフトウェアを保存して下さい。デフォルトのインストールディレクトリは、¥Program Files¥Ocean Insight¥OceanView です。
6. インストールウィザードは、インストールプロセスによって案内します。OceanView アイコンの場所はスタート | すべてのプログラム | Ocean Insight | OceanView | OceanView と現在のユーザのデスクトップです。
7. OceanView を起動して、上部のメニューの“ヘルプ”から **Licesening** を選択して下さい。
8. 提供された Prodcut Key を入力して、**Activate** をクリックして下さい。Activation が正常に終了した場合、ウィンドウの上部に **Licensed** と表示されるはずですが。

デバイスドライバの問題

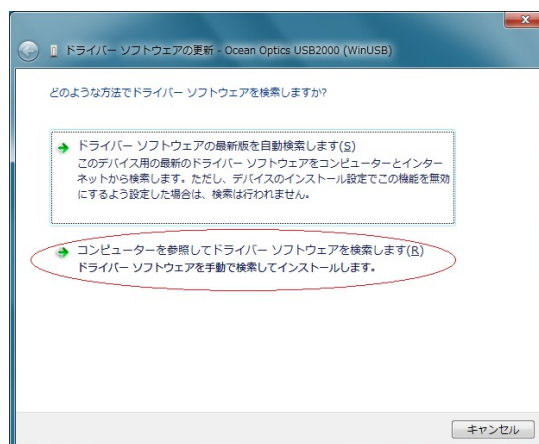
分光器をコンピュータに接続したとき、ハードウェアデバイスドライバのインストールは、Microsoft Windows OS ではシームレスで行われます。しかし、Windows システムの中には、初めて分光器を接続する際、ほんの少し注意が必要です。

あなたの分光器がコンピュータ上で実行する OceanView によって認識されない場合は、下記手順に従ってマニュアルで分光器ドライバをインストールして下さい。

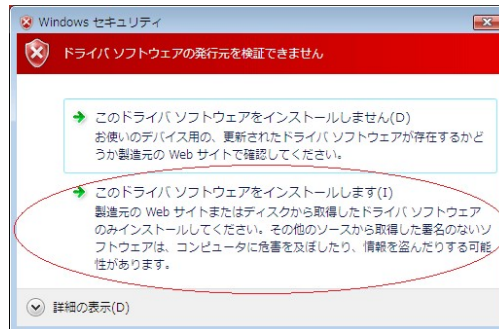
Windows ドライバーインストールの手順

Windows 64 ビットシステムに分光器を接続する際、以下の手順を行って下さい。Windows のバージョンによって、ステップは僅かに異なるかもしれません。

1. コントロールパネルを開き、**デバイスマネージャー**をクリックします。
2. **ほかのデバイス**の下、Ocean Insight 分光器の上で右クリックし、**ドライバーソフトウェアの更新**を選択します。次の画面が現れます：



3. コンピュータを参照してドライバーソフトウェアを検索しますを選択します。
4. C:\Program Files\Ocean Insight\OceanView\SystemFiles にナビゲートして OK をクリックし、次へをクリックします。
5. 下記ポップアップ画面が現れた場合は、このドライバーソフトウェアをインストールしますを選択します。



ドライバーインストールが成功すると、ソフトウェアは分光器を認識するはずですが。

Macintosh インストール

OceanView を Mac にインストールするためには、管理者としてログインしている必要があります。完全なダウンロードはおおよそ 35MB です。

注意

MacOSX のより新しいバージョンには Java が含まれていないので、OceanView をインストールする前にマニュアルで最新の Java をインストールする必要があるかもしれません。OSX の異なるバージョン用に最新の Java をダウンロードするためのインストラクションは以下でご覧いただけます：

<http://support.apple.com/kb/HT5648>

また、OSX 10.7.3 以降のための Java の直リンクはこちらです：

<http://www.java.com/en/download/manual.jsp#mac>

1. OceanView を受け取ったリンクにナビゲートし、インストーラ (OceanViewSetup_Mac.dmg) をダウンロードして下さい。
2. ディスクイメージをマウントするために OceanViewSetup_Mac.dmg ファイルをダブルクリックして下さい。ディスクドライブに似ている新しい OceanView アイコンがデスクトップに現れます。新しいアイコンは自動的に開きます (開かない場合はダブルクリックして下さい)。
3. インストールするため、OceanView.app アイコンをアプリケーションフォルダにドラッグして下さい。OceanView はアプリケーションフォルダから開始可能になります。さらに簡単に OceanView を開始で

きるようにするため、必要に応じてアプリケーションフォルダをダブルクリックし、アプリケーションから Dock に OceanView アイコンをドラックして下さい。

4. インストールが完了したら、OceanView ドライブアイコンをゴミ箱にドラックして下さい。

Linux プラットホームへのインストール

完全なダウンロードはおよそ 75MB(32-ビット)または 67MB(64-ビット)です。

注意

以下のサンプルは 64 ビットインストーラをデスクトップにダウンロードしたものです。あなたのインストレーションに関しては、ビット数(64 を 32 に)やファイルの場所を変えて下さい。

1. ターミナルウィンドウをスタートさせ、以下のコマンドを入力して下さい：

```
chmod 755 ~/Desktop/OceanViewSetup_Linux64.bin
sudo ~/Desktop/OceanViewSetup_Linux64.bin
```

ルートとしてセットアップを実行できるように、パスワードを促されます。パスワードをお持ちでない場合は、システム管理者に連絡して下さい。sudo コマンドが機能しない場合(あなたのユーザアカウントでセットアップされていないかもしれません)は、下記を入力して下さい：

- a. su
- b. (ルートに対するパスワードを入力)
- c. ~/Desktop/OceanViewSetup_Linux64.bin

OceanView の Linux バージョンは、Linux ディストリビューションによってデフォルトではインストールされていないかもしれないいくつかのライブラリを必要とします。下記ライブラリは必要であり、OceanView の一部として提供されません。

- libstdc++ version 6 以降
- libXp version 6 以降
- libusb version 0.1.10 以降

linux libusb-0.1 がそのシステムに存在するか確認して下さい。それが存在するかを検証する為、これらのコマンドのどれかを実行して下さい。

- dpkg-query-l | grep-i libusb -or
- sudo apt list -installed ¥

2. OceanView を起動前に SELinux (Security Enhanced Linux) restrictions の修正が必要かもしれません。SELinux を取り除く事は可能です。ルートとして setenforce Permissive を起動する、もしくは

は SELinux policies をカスタマイズする事により SELinux audit を取り除けます。OceanView インストーラは、システムのセキュリティ設定をモディファイしません。

注意

以下のサンプルは 64 ビットインストーラをデスクトップにダウンロードしたものです。あなたのインストーションに関しては、64 ビットを 32 ビットに変更して、デフォルトのインストールディレクトリである /usr/local/OceanOptics/OceanView に関しては、(必要であれば) ファイルの場所を変更して下さい。

プログラムを起動するためコマンドライン上に OceanView に入るためのシンボリックリンクが /usr/bin に加えられます。

製品起動

ライセンス

ヘルプ → ライセンス認証でソフトウェアご購入時に受け取ったプロダクトキーを OceanView ライセンスダイアログボックスに入力する事によって OceanView ソフトウェアを起動する事が出来ます。

インターネット接続がない場合は、Product Activation ウィザードを表示するためオフライン登録をクリックします。ウィザードに従って Activation Request ファイルを保存し、インターネット接続機器から弊社にそれを送信します。弊社はそれから Product Activation ウィザードのステップ 3 で適用しなければならない Activation Request ファイルをお送りします。

30 日間無料トライアルの開始


30 日間の無料トライアル中に保存した全てのデータとプロジェクトは、有効なプロダクトキーを使って起動されたソフトウェアでご利用いただけます。OceanView のライセンス購入については弊社担当 (spe@optosirius.co.jp) までお問い合わせ下さい。

1. ソフトウェアを開始するためデスクトップ上の OceanView アイコンをダブルクリックします。
2. OceanView のフル機能バージョンの 30 日間無料トライアルを開始するために開いた OceanView Product Activation dialog box にあるキャンセルボタンをクリックして下さい。

ソフトウェアをアクティブにする為にプロダクトキーを使って下さい

注意

有効なプロダクトキーを使ってソフトウェアを起動するためにはインターネット接続が必要です。インターネット接続がご利用いただけない場合は、オフライン起動手順についてお問い合わせ下さい。

1. ソフトウェア起動のためデスクトップの OceanView アイコン()をダブルクリックします。
2. プロダクトキーを入力するため Product Activation ダイアログの **Next** をクリックします。
3. email で受け取ったプロダクトキーをコピーし、プロダクトキーボックスにペーストします。
4. プロダクトキーを確認するため **Register Software** ボタンをクリックします。
5. ソフトウェア登録を完了するため **Finish** をクリックします。

下記メッセージが現れたらインターネット接続を確認し、**Register Software** ボタンを再度押して下さい。コンピュータが接続されていて、それでもソフトウェア登録できない場合は、弊社にお問い合わせ下さい。

**There is a problem with Licensing.
Contact Ocean Optics, Inc. for help.**

Quick Strat Guide

OceanView を起動すると以下の Welcome Screen が表示され、あなたがしたいことを訪ねてきます。

以下のタスクより選択して下さい。

• Quick View -

この **Quick View** モードでは、生の処理されていないスペクトルを表示します。この画面のスペクトルは波長に対する分光器の感度が補正されていません。**Quick View** はあなたに分光器が見ているものをライブで示します。**Quick View** からあなたは異なるテクニックに関するモードを構成する事が出来ます。



• Load a Saved Project -

以前に保存したプロジェクトをロードする事が出来ます。**Restore Last Session** をクリックすることで、**Schimatec**(スキマティック)をロードして、ソフトウェアが最後に閉じた画面を表示する事が出来ます。

• Spectroscopy Application Wizards -

簡単な測定手順を示したウィザードを使いながら、測定のセットアップが出来るこの機能をご使用下さい。様々なアプリケーションがあります。

注意

OceanView は一連の配慮の行き届いたヘルプ機能があります。より詳しい詳細はダイアログボックスのヘルプボタンをクリックして下さい。マウスをボタンまたはウィンドウ上に乗せることで、補足説明が表示されます。ヘルプ機能はトップメニューのヘルプにもあります。

Quick View (クイック表示)

全ての接続デバイスの生スペクトル(取得パラメータの設定やトラブルシューティングに役立つ未処理のデータ表示)を表示するために **Quick View** を選択して下さい。このモードは以前、オーシャンインサイト社 SpectraSuite ソフトウェアでスコープモードと呼ばれていました。これはディテクタからの生の信号であり、この強度はディテクタが受ける光によって発生した電圧と比例します。このデータは校正されていないデータであり、ある波長から次の波長の特定のパワーやエネルギーを表示していない事を理解する事が大変に重要なことです。


Load a Saved Project (保存されたプロジェクトのロード)

OceanView はプロジェクトの保存とロードをする事が出来ます。あなたは以前に保存したプロジェクトをロードすることで、すぐに処理モードを開始する事が出来ます。

Spectroscopy Application Wizards (分光器アプリケーションのウィザード)

分光器アプリケーションウィザードは各種測定を行う入り口です。各々のウィザードはユーザーを一連のセットアップウィンドウに連れて行きます。

あなたの測定環境を作る為、適切なウィザードを選択して下さい。この選択でデータの取得を最適にして、希望の測定を開始する為に必要ないくつかのステップにあなたを直ぐに導きます。

そのウィザードの選択画面は、**Create a new spectroscopy** のボタン  または上部のファイルより **Create a new spectroscopy** の項目を選択しても表示出来ます。

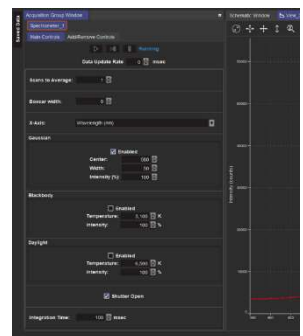


Measurement Interface (測定インターフェース)

測定ウィザードを終了した後、その測定インターフェースは開始されます。これは **Acquisition Group Window** や **Graph Window**、**Schematic Window** が含まれます。

Acquisition Group Window (アクイジション グループ ウィンドウ)

全てのデータ所得の制御は **Acquisition Group Window** の中にあります。ウィンドウの上部のタブからも選択する事が出来ます。



追加の機能を見たり選択するには、**Add/Remove controls** のタブをクリックして下さい。そして希望する機能の横のボックスをクリックして下さい。これにより **Main Controls** のタブの中に追加の機能が加わりまます。それらのボックスがチェックされると、それらの機能が **Main Controls** のタブの中に表示されます。ある機能のチェックマークを外すとその機能は実行できなくなり、単に **Main Controls** のタブ上の機能から消えます。**Add/Remove controls** のタブの中の機能のどれが実行可能であるかは分光器の種類により決められます。

Graph Window (グラフウィンドウ)


グラフウィンドウは **Acquisition Group Window** の中で作られた設定に従って、スペクトルを活動的に表示します。データ取得に関連するアクティブグラフ(例えば view や view-background 等)はスペクトル表示のウィンドウの上部に表示されます。




これらのアクティブグラフは閉じたり開いたりすることや、レイアウトをカスタマイズする為にそのスクリーンの周りにドラッグする事が出来ます。

上記のグラフには、サイズや横軸や縦軸のスケール変更、キャプチャー、重ね書きスペクトルの消去、データ保存、ダークトリファレンスの繰り返し、ピーク波長検出のような他のグラフ機能などの機能項目があります。各アイコンの機能を表示させる為には、マウスをアイコンの上に置いて下さい。

注意


機能表示がより少なく表示される場合、それは EZ () モードの操作インターフェースです。




そのスクリーンの上部の左側の advanced モードのアイコン () をクリックすることで、(全ての機能のアイコンが使用できる) advanced モードに切り替える事が出来ます。

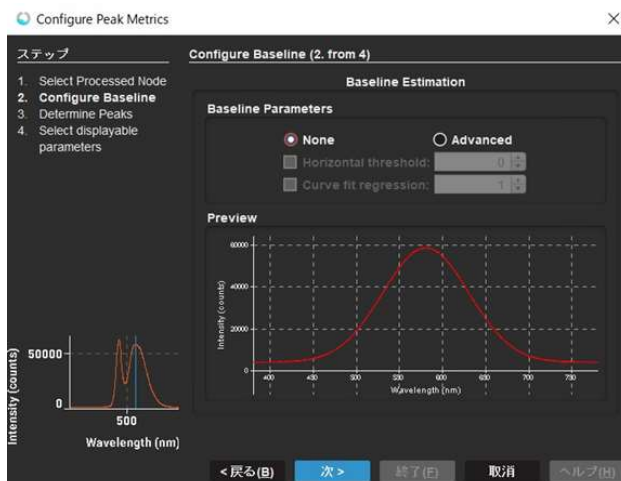


Save Spectra (スペクトルの保存)

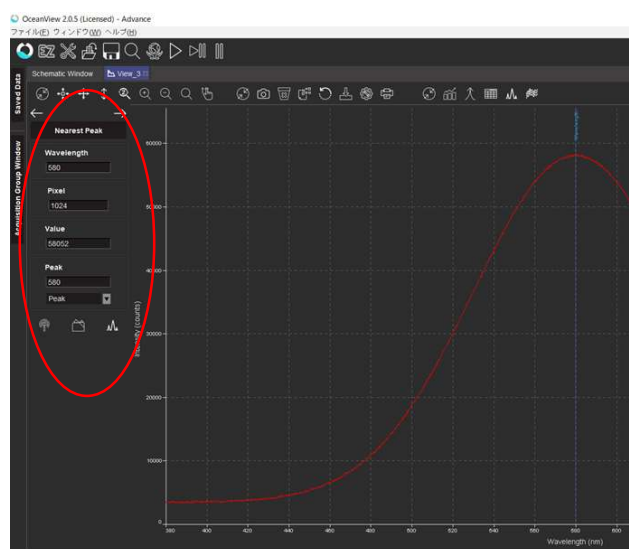
スペクトルのデータ保存は、最初に保存のアイコン () で表示される画面の設定を行います。そして設定されたアクションを実行する為、アイコン () をクリックします。様々なオプションがあります。デフォルトは、指定されたファイルの場所にシングルスキャンを保存するようにする **save every scan** と **stop after one scan** の設定になっております。


Peak Finding (ピーク波長検出)

スペクトルのピーク波長を検出するには、**Graph View** 中の **View Spectrum Peak** のアイコン () をクリックして下さい。ピーク検出のパラメータを設定する為に、ピーク設定画面のウィザードのいくつかの設定画面を進むことで設定が出来ます。



1. ベースラインのレベルを設定して下さい。
2. ピーク検出の方法を選択して下さい。
3. グラフ上またはテーブル、またはその両方にどの測定項目を表示させるかを選択して下さい。
4. ピーク検出のパラメータと開かれる新しいピークのメニューの基準を調整して下さい。



5. ピーク検出の画面を閉じて下さい
6. グラフからピーク検出を取り除く為には **View Spectrum Peak** のアイコン()をクリックして下さい。

以上

Unlock the Unknown

オプトシリウス 株式会社

本社：〒115-0055 東京都北区赤羽西 1-2-14 MYビル 2・3F

西日本営業所：〒532-0004 大阪市淀川区西宮原 2-6-67-707

TEL:03-5963-6377 (本社) / 06-7171-7654 (西日本営業所)

<http://www.oceanoptics.jp/>